

ナーシングホームのためのアドボカシー・グループの作り方

HOW TO ORGANIZE A NURSING HOME ADVOCACY GROUP

作成者: California Advocates for Nursing Home Reform.
650 Harrison Street, 2nd Floor, San Francisco, CA 94107
PHONE: (415) 974-5171 FAX: (415) 777-2904

I. グループの設立方法

A. 構成:

1. グループの目標と目的: グループの目標と目的を設定します。長期的な目標（例：ナーシングホームの介護の質を向上させる）と具体的な短期目標（例：ナーシングホームの家族や友人に教育の機会を提供、家族組合の結成）の双方を設定する必要があります。書面による正式な文書を用意すると、目標を明確化するのに役立つだけでなく、コミュニティへの啓蒙活動にも有効です。
2. 顧問委員会: 顧問委員会はグループの開始段階において極めて有用です。重要な立場にある人々の多くは、グループの活動に積極的に参加する時間の余裕はないかもしれませんが、グループのレターヘッドに名前を連ねることを承諾してくれる可能性はあります。また、地区や州の政治家、よく知られた地域の活動家、あるいはその他の広く名前を知られた人々に連絡を取り、顧問委員会への支援（と名前） おおびグループのレターヘッドへの協力を依頼することもできます。
3. 法人組織化: 正式な会則と法人団体規則を準備する必要があります。法人化の方法については多数の独習書があります。大抵の大型書店には法律書の棚があり、その州で非営利グループを法人組織化する方法に関する本が見つかるでしょう。通常こうした本には、会則の例や法人団体規則の例に加え、該当する州と連邦の機関の住所および電話番号が掲載されています。州と内国歳入庁（国税庁）に対する非課税申請も実行する必要があります。グループの法人化は必須ではありませんが、団体助成金の申請や寄付を募ることが見込まれる場合は、非営利・非課税団体（501(c)(3)団体）であることが通常は義務づけられています。
4. 理事会: 州の法人法を調べて最低限必要な理事の人数を確認します。理事会の主たる目的は、グループの方針を設定し、資金調達を支援することですから、理事候補に申し入れる際にはこれらの点を心に留めておくようにします。

グループの必要性に関して、多くの時間を割いて理事に説明する必要

はありません。ナーシングホームの問題に敏感で、問題点に詳しく、および/または資金調達分野に専門的知識を備えた人が理事の候補として適しています。

B. 下調べをする：

ナーシングホームに関する州および国の規制や法律、州の賠償手続き、執行システム、ナーシングホームに関する有力者リストについて詳しく知るように努めます。これには、執行機関、ナーシングホーム協会、ナーシングホーム改善法制定を推進した議員またはナーシングホーム産業の法制定を推進した議員、州内の主なナーシングホーム・チェーンなどが含まれます。実際に関わっている人々について知り、その規則を理解することによってのみ、その規則への参加や変更が実現します。

C. 初期資金：

非営利の地位の正式な通知を受け取るまでに3ヶ月から6ヶ月かかることがあるため、グループ開始時にある程度の初期資金が必要となる場合があります。地域の財団に着手資金を申し入れることも可能です。着手資金は「財務仲介者（fiscal intermediary）」を通じてグループに支給されることになります。数人の個人が、小規模の事務所、レターヘッドの印刷、電話などのために、当初の寄付（2,000ドルから3,000ドル）を提供してくれるかもしれません。グループのパンフレットを印刷し、資金に余裕があるなら、手紙による勧誘を行うと、資金の調達につながったり、将来積極的に活動してくれる可能性のあるメンバーのリスト作成に役立てることができま

II. アウトリーチ（啓蒙活動）

A. **マスメディア：**グループについての公共広告、ナーシングホームでの問題に関する記事の可能性、グループを取り上げたラジオ/テレビ番組などを、地域のマスメディア（紙のメディアと電子メディアの両方）に申し入れる必要があります。これによって、マスメディアが今後も継続的にグループと接触を保っていくことや、グループに対する一般の人々の意識を育てることが可能になります。マスメディアは、介護について実際に問題を抱えている実在の人間を常にインタビューしたがつていることを念頭に置きましょう。

B. **ナーシングホーム入居者の家族、友人：**これらの人たちをナーシングホームの問題に関する公開討論の場に招待することができます。家族支援グループの継続をこうした会合のトピックとすることもできでしょう。このようなグループは、入居者の家族に対して、その権利、入居者

の権利、法律面や財務面での懸念事項、苦情の申し立て方などについて、情報を提供したり、指導を行ったりすることができます。地元のコミュニティ機関から講師を招いて話をしてもらっても良いでしょう。

C. 家族および入居者組合：地元のナーシングホームの家族組合および/または入居者組合に、グループのサービスを提供します。これによって、消費者に情報や知識を紹介することができるうえ、グループへの支援をもたらす機会となります。

D. ネットワーク作り：地域にある他の医療機関やシニア機関に連絡を取ります。ワークショップを共同で提案したり、地元のオンブズマンとの定期的なミーティングを始めたり、家族支援グループを共同で開催したりなど、さまざまな方法があります。

III. 継続的資金源：

資金のあるなしは、グループの存続に関わります。継続的な資金源は、グループを引き続き運営することを望む場合には不可欠です。他の非営利団体の運営方法、ことに政府支援を受けていない団体の運営方法を把握しましょう。ベイク・セールをしなくても、グループのための資金を調達する方法はいくつかあります。次に挙げるのはそのうちの一部です。

A. 財団助成金：地元の財団はその基準を満たす非営利団体に助成金を提供しています。自分のグループへの資金援助に関心を持つ財団を見つけ出したら、電話または手紙で申請書を請求し、年間予算を作成して、申請します。ほとんどの財団では、内国歳入庁による非営利団体証明の提出を義務づけています。

B. 会費：会員ベースの組織は年間の収入源を確保することができます。たとえば、20ドルの年会費で四半期ごとのニュースレターの郵送費と印刷費をまかなうことができるでしょう。これは必ずしも「正式な」会員組織（会員が理事を選出、あるいは方針を決定）を意味しているわけではありません。会員証を受取り、ニュースレターを購読する「準」会員を募ることもできます。

C. サービスに対する料金：参加費用を10ドル以上に設定して、配偶者がナーシングホームに入居した際のメディケイド受給資格や資産の確保手段のような、特別な分野に関するワークショップ、あるいはソーシャルワーカーや退院サポート・マネージャー向けの継続教育研修の提供をします。

D. 特別行事：年次「アドボカシー賞」ディナーまたはランチオン、あるいはコミュニティから寄付を受けた品物やサービスのオークションによつ

て、資金を調達し、かつグループに対する一般の人々の意識を高めることができます。

IV. プロジェクト/サービス:

グループが展開するプロジェクトやサービスを決定する際には、グループ本来の目標と目的を念頭に置きます。おそらく他の機関が扱うべき電話の対応や問い合わせなどを含めた、日々の運営に追われてしまうことがよくあります。「アドボカシー」グループであることを忘れずに、手がけるプロジェクトにはグループの目標を反映させるようにしましょう。これには次のような様々な活動が含まれます。

- A. 地域の家族支援グループやナーシングホームごとの家族組合を作る。
- B. 州や地区の認可および取締機関と定期的な会合を行う消費者グループを作り、方針の変更について話し合う。
- C. 地区および/または州のナーシングホームを観察し、問題のある施設にマスメディアの関心を集中させる。
- D. 家族組合の作り方や苦情の申し立て方、入居者の権利についての配布物を準備する。
- E. 州法の監視を実行したり、グループが関わった法案の通過を働きかける。
- F. 問題のあるナーシングホームにピケを張り、ホーム法人の違反内容や利益などに関する情報を集めて、報道機関に配布する。
- G. 変更がなされるまで、組織化、教育、発言を行う。

V. ロビー活動

「法律があるべきだ (There ought to be a law) 」

ほとんどのナーシングホーム・アドボカシー・グループでは、入居者の権利保護を拡大する州法の変更や新法の設立を望んでいます。言い換えれば、州議会議員へのロビー活動を希望しているわけです。非営利・非課税団体 (501(c)(3) 団体) は、その活動のごく一部 (*insubstantial part*) としてのみ、法律制定に影響を与えようと努めることができます。しかしながら、このような団体が議員などの政治家候補を支持・反対する活動は完全に禁止されています。ロビー活動に携わろうとする多くの非営利団体にとっての問題は、「実質的な部分

(substantial part)」の定義です。これについては、非営利団体の税金問題を専門とする、資格を持った地元の税の専門家に、ロビー活動および内国歳入庁への申告要件に関する選択肢について相談する必要があります。たとえば、特定の非営利・非課税団体 (501(c)(3)団体) は、5768 書類 (Form 5768) の提出を選択することもできます。これにより、代替の「費用」テスト ("expenditures" test) が使用することができ、同時にロビー活動が団体の予算の特定の割合に制限されます。この他にも、非営利団体向けのいくつかの選択肢がありますが、内国歳入庁の非営利団体に対する法律に詳しい専門家に相談すべきです。

みなさんのグループのプロジェクトの成功を期待しています。さらに詳しい情報が必要な場合は、いつでも CANHR に電話でご連絡ください。また、ウェブサイトもぜひご覧ください。電話番号：(415) 974-5171、CANHR のウェブサイト：www.canhr.org.

ナーシングホームの改善活動を支援する方法

1. ナーシングホーム改革法を支援する手紙を書きます。現在審理中の法律の一覧については CANHR 事務所までお問い合わせください。電話番号：(415) 474-5171
2. ナーシングホーム入居者の家族や友人からなる、地域の家族支援グループを作ります。講師を招きグループの抱えるさまざまな懸念事項について発表してもらいます。テーマと講師の例としては、メディカル受給資格（地元のメディカル事務所のスタッフ）、患者の権利（地元のオンブズマン事務所の担当者）、苦情の申し立て方（認可および認証を扱う地区事務所の担当者）などの他に、CANHR の担当者を招いて話をしてもらうことも可能です。
3. ナーシングホームで入居者組合を作ります。CANHR に連絡して「家族組合の作り方」パケットを取り寄せましょう。州法の基づき、ナーシングホーム入居者の家族を入居者組合のすべてのミーティングに招待する必要があります。これは参加を募る方法の1つであり、また入居者のニーズを知る方法でもあります。さらに、連邦法および州法がナーシングホームの家族組合を規制しています。この点についてアドバイスが必要な場合は、CANHR に連絡してください。
4. CANHR の「メディア監視 (Media Watch)」キャンペーンに参加します。ナーシングホームの問題に関する切り抜きを CANHR 事務所まで送付してください。（送り先：CANHR, 650 Harrison Street, 2nd Floor, San Francisco, CA 94107）紹介されるべき話を知っている場合は、マスメディアに知らせるか、CANHR に送ってください。
5. 認可および認証を扱う地区事務所に苦情を申し立てます。地区事務所は1年に1回ナーシングホームを訪問することが義務づけられているのみです。しかしながら、正当な苦情に応えての訪問も実施します。苦情を申し立てる際は、必ず書面で行い、日付、時間、場所、および事実を記します。苦情申立人は、施設調査の調査官に同行する権利を有し、かつ結果に納得がいけない場合は不服を申し立てる権利を有します。苦情申立書の写しを CANHR に送付してください。地元のオンブズマン・プログラムに常に写しを送付するようにし、苦情の解決のための支援を要請しましょう。
6. 財政的な援助を行います。CANHR は主に寄付と財団助成金によって支えられています。経済的に可能であれば、CANHR 宛てに寄付を送ってください。また、友人に CANHR の事業を支援するよう依頼してください。CANHR の会費（25ドル/1年）には CANHR のニューズレターの無料購読が含まれます。